

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2018年3月23日

石渡くんのネギだより 第一回 発芽編



昨年10月の台風21号は9月までの好調な野菜の生育を一転させ、甚大な被害となりました。そして、私がネギの出荷作業を行う中で周囲から「今年はネギが高い！なんで高いの？」という声をよく耳にしました。畑や野菜の様子が消費者に伝わっていない！伝えるのを我々も怠っているのではないかな？そんな疑問を持つに至り、私の栽培している“長ネギの一生”（発芽から出荷まで）を数回に分けて紹介していきます。

第一回目はネギの種蒔きです。種の大きさは約2mm。小さくてまきにくいので、私は加工された種を使っています。30cm×60cmの苗箱1枚につき約700個の種をまきます。1回に苗箱70枚、4万本から5万本の量です。それを、ビニールハウスの中に整列、保温シートをかけます。発芽までに7日から15日、その間は温度管理を行います。発芽に大切なのは、土を乾かさず温め過ぎない事。単純ですが気をつかいます。

私は、就農した時からネギを栽培しています。時には温度を上げ過ぎて細いモヤシのような発芽になったり、病気を発生させてしまい苗の半分近くを処分した年もありました。苗作りは農家の腕、つまり判断力が試されるのです。

ネギの生まれたての様子を少しお話ししました。次回は畑に植える頃にお伝え出来たらと思います。ちゃんと育つか？次回をお楽しみに。

(山武市 石渡^{かつひろ}雄悠)

指先に発芽したばかりのネギが弱々しく顔をのぞかせています。
これから、グングン育ちます。

